

THEインパクトランキング2025 SDG3で国内3位（世界同率45位）！

2025年6月にイギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education（THE）」がTHEインパクトランキング2025を発表しました。このランキングは国連が掲げる「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals（SDGs）」に対して、大学がいかに取り組み、社会に影響を与えているかを可視化したものです。7回目となる今回は、2,526大学が参加しました。

今後も本学では、世界をリードする大学を目指し、国際社会共通の課題に積極的に取り組んでまいります。

総合ランキング
国内同率14位（7年連続公立大学1位）
世界401-600位



SDG3「すべての人に健康と福祉を」
国内3位（国公立大学1位）
世界同率45位



SDG17
「パートナーシップで目標を達成しよう」
国内同率6位（公立大学1位）
世界同率301-400位



共創まちづくりシンポジウム2025を開催しました！

本学が名古屋市の協力・連携のもと進めている「共創まちづくり研究推進事業」の一環として、2025年6月3日（火）にナディアパーク3階デザインホールで「共創まちづくりシンポジウム2025」を開催しました。名古屋市中田副市長及び本学の郡理事長による開会挨拶、動画による「なごや先端研究開発センター」の紹介に続き、4名の研究者による講演、「社会課題解決への挑戦：データ活用型研究」をテーマとしたパネルディスカッションを行ったほか、「共創まちづくり研究推進事業」に採択された50の研究課題に関するポスター展示を行いました。

当日は、本学の教職員・学生、名古屋市職員、市民の方など、定員を超える254名の方にご参加いただきました。



会場の様子



パネルディスカッションの様子



本学の学生がSDGs関連イベントに参加します！

8月、9月に以下のSDGs関連イベントが開催され、本学の学生が発表のほか、ブースでのワークショップを行います。

①県内大学魅力化のためのPBL導入支援フォーラム

主 催：中日新聞社
日 時：2025年8月20日（水）
13:00～16:00
場 所：中日ビル
発表者：データサイエンス学部 学生3名
※大学教職員・学生、企業・団体・行政のみの参加となります。

詳細はこちらから



②De La MIRAI NAGOYA（デ・ラ・ミライ・ナゴヤ）

～未来を創ろう 愛・地球博20周年記念行事～
主 催：名古屋市
日 時：2025年9月13日（土）、14日（日）
両日とも10:00～17:00
場 所：キャナルパークささしま ほか
出展者：人文社会学部 曽我ゼミ生

詳細はこちらから





本学のSDGsアンバサダーの学生3名が、6月3日（火）に名古屋市立高針台中学校で中学1年生210名に向けた出張授業を行いました。授業では、SDGsをテーマとした「総合的な学習の時間」の初回の導入というとても重要なパートを担当しました。今回のコラムでは、その授業の様子をご紹介します！



今回の出張授業は、学生主体のSDGs推進サークル「サステナ・カレッジ」の活動が外部の方の目に留まり、「中学生にもSDGsを身近に感じてもらうために、SDGsに関心を持ち、実際に活動している大学生に話をしてほしい」と依頼を受け実現しました。

＜講義をしたのはこの3人！

左から、岩田さん（人社3年）、楓さん（経済3年）、原さん（人社3年）

中学生に伝える“自分ごと”としてのSDGs

中学生にSDGsを“自分ごと”として捉えてもらえるよう、身近な話題を交えてSDGsの基本的な考え方や世界・地域の課題をわかりやすく紹介しながら授業を行いました。中学校の近くにある猪高緑地の溜池を事例として取り上げ、身の回りにもSDGsが存在し、自分たちでもできることがあるということを伝えました。

○もし溜池がなくなったら…？

→猪高緑地の生物多様性が保たれなくなる

→この問題に対してSDG15「陸の豊かさを守ろう」という目標が設定されており、**身近なところにもSDGsが存在している！**



このままだと… **完全に消滅**してしまうかも

0 個

- ・堀の秋池
- ・西堀池
- ・井堀下池
- ・井堀上池
- ・すり鉢池
- ・池産池
- ・宗太郎池



＜SDGsは誰にとっても関係のあるものであり、まずは「関心を持つ」「現状を知る」ことが誰ひとり取り残さないためにできること



生徒の感想 /

身近なことからSDGsに取り組んでいきたい

目標を立てるだけでなく、実行することが大切！



今起きている問題を知り、放置しない

自分達にもできるSDGsがたくさんある



SDGsセンター長
林 秀敏 先生

大学生たちが自分の体験をもとに語る姿に、中学生も真剣に耳を傾けていました。中学生にとって、年齢の近い先輩からSDGsの具体的な話を聞くことは、自分ごととして捉える良いきっかけになったでしょう。SDGsの実現には、世代を越えた学びと行動のつながりが不可欠です。今回の出張授業を契機に、中学生の皆がSDGsを身近に感じて、身のまわりにある課題に関心をもって行動してくれれば嬉しく思います。

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
(経営企画部企画課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel : 052-853-8806

Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

